

第81号

HAKUHOKAI

虹

医療法人 伯鳳会

平成26年11月25日 発行

病棟編成を行いました！

この度、リハビリテーション患者様の受入体制の更なる充実を図るため、赤穂中央病院・南館の『回復期リハビリテーション病棟』を42床から60床に増床する運びとなりました。

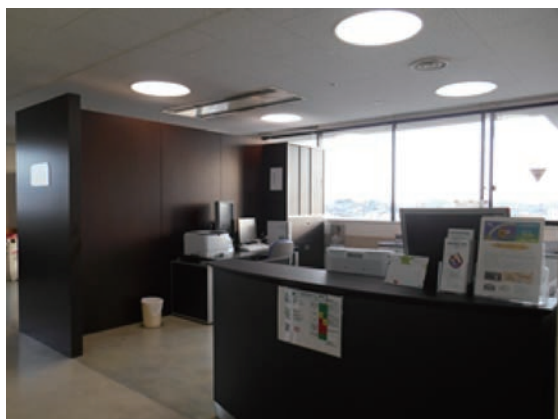
編成後の10月より、3階の内科病棟と5階の南側を合わせて『内科・整形外科病棟』と名称を改め、60床に生まれ変わりました。また、『回復期リハビリテーション病棟』は6階と5階北側に場所を構え、60床と編成いたしました。改装期間中には、患者様には大変ご迷惑をおかけしました。

改装をした5階には、『内科・整形外科病棟』と『回復期リハビリテーション病棟』があるため、新たにナースステーションを設け、回復期リハビリテーション病棟の医療スタッフは名札の色を変更して患者様に分かりやすいよう工夫しました。

5階のエリアでは、整形外科疾患の急性期から回復期までを担っており、急性期治療から自宅に帰ることを目標としたリハビリを行っています。この度は、リハビリスタッフも増員し患者様に365日、手厚いリハビリを提供しています。

これからも赤穂中央病院は患者様のニーズに沿った医療を提供していきたいと思っています。

6F	南6階病棟 回復期リハビリテーション病棟	6001~6022 5015~5022
5F	南3階病棟（内科・整形外科病棟）	5001~5013
3F		3001~3022



新たに設置したナースステーション



回復期リハビリテーション病棟の新しい名札

内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）について



内科 津田 朋広

近年の胃カメラによる診断学の進歩により、消化管における早期がんの発見率が大きく向上しています。

またそれに伴い、従来は手術療法や抗癌剤治療が中心となっていた胃がんの治療において、胃カメラで治療を行うという選択肢が出現してきました。

当院でも、内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）と呼ばれる早期胃癌の治療法を導入し積極的に加療を行っております。

これは胃カメラの先からフラッシュナイフ®と呼ばれる電気メスを出して、早期胃がん下を少しずつ切っていく方法です。



この治療法は苦痛が無いように注射の麻酔薬を使わせて頂き、胃がんの場所によって治療時間は異なりますが、数時間程度眠って頂いている間に治療を終えることができます。



またこの治療を行った後、翌日は食事ができませんが、カメラで治療した部分に異常がないことを確認できれば、翌々日からは食事ができるようになります。

もちろんカメラを使っているとはいえ手術の一種ですので、場合によっては出血や穿孔と呼ばれる合併症が起こるケースも有り、場合によっては開腹手術が必要となるケースも有ります。

ですが、体への負担が少なく早期の社会復帰が可能な治療となりますので、これからますます全国で普及していくでしょうし、当院でも積極的に治療を推進していく予定です。

◆◆◆◆第1回学校祭「はく看祭」を開催しました!◆◆◆◆

秋風が心地よい10月11日(土)、はくほう会医療看護専門学校にて、記念すべき第1回学校祭「はく看祭」を開催しました。

新興住宅の中に建つ専門学校として、学校祭を通して、より多くの地域の方々に学校を知ってもらい、学校教育を理解して頂き、学生の連帯感を高めるため、「輪」というテーマを掲げ、4月から学校祭に向けて準備を進めてきました。

初めての学校祭ということで学校祭運営は紆余曲折を経ました。はく看フェスティバルショーの内容決定や、模擬店の準備、学生の出し物の練習、学校祭費捻出のための地域の店舗への協賛募集など、1回生44名には多すぎる課題が山積みでしたが、全員が知恵を出し合い、協力し合い、また自主的に課題をこなしていきました。

その結果、多くの地域の店舗が協賛して下さり、地域の保育園の出演協力や消防署の救急救命講習会実施、明石リハビリテーション病院のバンドの協力も得ることができました。また、協賛を通じた、学生の宣伝効果もあり、当日は305名という予想以上の来場者がありました。

木下通博「東映剣会」にも出演いただき、来場者の笑いが沸いていました。また、三木精愛園のmoimoiカレー、玄武会のもっちゃんベーカリー、うどんはとても美味しいと来場者に好評でした。

学校祭開催後の学生の話し合いでは、「クラスメイトと学校祭開催を通して仲良くなれた」、「地域の方と触れ合うことができよかった」という意見がありました。テーマを掲げる際に立てた学生の目的も達成でき、第1回目の学校祭「はく看祭」は、大成功を収めました。



新任医師紹介



外科科
柳沼 裕嗣 医師

福島県から来ました柳沼と申します。呼吸器外科を担当しています。内科系も含めて気軽にご相談下さい。



神経内科
森原 隆太 医師

患者様ひとりひとりに応じて、丁寧な診察と分かりやすい説明をしていけるよう心がけていますので、よろしくお願いします。

我が家自慢のペット紹介コーナー

第72回目は、Uさん宅のももちゃん

種類：パスバレーフェレット

名前：もも

性別：女の子 年齢：現在7歳(当時2歳)

靴下、ペットボトルが好きで気に入ったものはベッドの下に隠しちゃいます。



このコーナーでは皆様からの「自慢のペット」投稿をお待ちしています。どしどしご応募ください。

赤穂中央病院 (基幹型卒後臨床研修病院)

所在地 〒678-0241 赤穂市惣門町52-6

電話 0791 (45) 1111 (代表)

赤穂はくほう会病院

所在地 〒678-0239 赤穂市加里屋字新町99

電話 0791 (45) 1111 (代表)

診療案内

平日 午前9:00～午後12:30

午後3:00～午後6:00

土曜日 午前9:00～午後1:00

診療予約受付フリーダイヤル

0120-891-700

平日 午前8:00～午後7:00

土曜 午前8:00～午後2:00

日・祝日 午前9:00～午後1:00

午後の診療時間は各科により異なります。ご注意ください。

診療時間・曜日は変更となる場合があります。詳しくは待合室に掲示いたしますのでご覧ください。

不明な点は何なりと職員にお尋ね下さい。

ほのぼのコンサートを開催!

10月13日(月・祝日) 赤穂中央病院 本館1階 パイプオルガンホールにて『LePont 国際音楽祭2014 ほのぼのコンサート』を開催しました!

毎年おなじみのほのぼのコンサートですが、この度は数年前に演奏して頂いたことのある荒井牧子さんをお招きし、美しい音色をホール全体に響かせて下さいました。曲目は、皆さんが一度は聴いたことのある、J.S.バッハ作曲の「G線上のアリア」やJ.アランの「こもりうた」等です。また、荒井さんは演奏の合間に曲目の説明をして下さり、「ラミレの上で」という曲の伴奏は「ラ・ミ・レ」の音で構成されているとユニークな解説で会場を楽しませて下さいました。

芸術の秋を感じられる素敵なコンサートに、会場からは大きな拍手が沸き起こりました。次回のコンサートも企画しておりますので、皆さま是非お越し下さいませ。



朝晩がかなり冷え込むようになり、冬の到来を肌から感じられるようになりました。世界ではエボラ出血熱などの感染症が問題となっています。感染症といえば、空気の乾燥するこれからの季節ではインフルエンザが流行する時期となります。日頃の生活習慣や服装などに気を付け、体調を整えて、健康に冬を過ごすことが出来るように心がけていきたいものです。

